

好生館だより

好生館

KOSEIKAN DAYORI

2017

[メッセージ]

理事長のあいさつ、館長から一言

.....p1

[好生館ニュース]

世界禁煙デー 他

.....p2

[診療科の紹介]

腫瘍内科、呼吸器外科、救急科、

集中治療部 (ICU)p3

看護部だよりp4

栄養の豆知識、

知っていますか？検査の話p5

感染制御部だより、医療安全管理部だより、
医療支援部だよりp6

開放型病床登録医のご紹介p7

患者・家族総合支援センターだより

.....p8

ホットラインについてp9

新任医師の紹介、歴史コーナー、

リレー・フォー・ライフ告知p10

外来医師一覧表p11



H29年度 新規採用看護職員の皆さん



地方独立行政法人

佐賀県医療センター 好生館

SAGA-KEN MEDICAL CENTRE KOSEIKAN

SINCE 1834

〒840-8571 佐賀市嘉瀬町大字中原400番地
TEL.0952-24-2171(代表) FAX.0952-29-9390
<http://www.koseikan.jp/>



理事長のあいさつ

理事長

中川原 章

好生館の働き方改革

戦後72年を経た日本社会では、その構造のみでなく、人々の意識のうえでも大きな変化が生じてきました。なかでも、戦後の高度経済成長の時代が終わり、バブル崩壊後に顕著になった少子高齢化が、着実に地域社会の構造を変えていく中で、私達の生活のあり方を含め、働き方に対する考え方や意識も大きく変わろうとしています。

このような、激変する地域社会の中で、病院の経営形態や経営方針も否応無く変わらざるを得ません。否、変えなければならぬと言った方が正しいでしょう。それは、命を預かる過酷な職場において、働く職員の意識が想像以上に変わってきているからです。

好生館でも、本年4月に労働基準監督署の是正勧告を受け、5月に「働き方改革委員会」を立ち上げました。委員会は、病院内の各部署からの公募で選ばれ、委員長の理事長ほか、医師6名、看護師3名、その他の医療技術職員4名、事務職員4名の総計18名で構成されました。委員会では、職員の働く現状を分析し、時間外業務を含むこれからの働き方のあり方全体について協議します。折しも、好生館では、3年前から人事評価制度の確立に向けて準備を進めていましたので、給与体系も含めて、各部署における働き方の改革を行っていきたいと思っています。

天保5年に始まる好生館183年の歴史の中で、これからのあり方を方向付ける一大改革となります。県民の命と健康を守る使命を持つ好生館として、真摯にかつ着実に取り組んでいきたいと思えます。

館長から一言

館長

児玉 謙次

好生館の本年度の病院運営の基本方針は、医療安全と感染制御の推進です。特に感染制御においては、現在世界中で深刻な問題となっている耐性菌対策を含めて、本年度からICT(Infection Control Team)に加えて、AST(Antimicrobial Stewardship Team: 抗菌薬適正使用支援チーム)を立ち上げました。ICTは衛生環境の整備など、主に感染症の発生予防に寄与し、ASTは抗菌薬の正しい使用による治療効果の向上や耐性菌発生防止に寄与します。予防的側面を持つICTと治療的側面を担うASTは、言わば車の両輪であり、感染制御にはいずれのチームも欠かせません。両チームは感染制御部長のリーダーシップの下に活動しますが、ASTにおいては特に薬剤師の存在が不可欠で、その積極的な関わりによりASTの役割が十分発揮されることが期待されます。



今後、ASTを中心に抗菌薬使用における許可制の徹底、さらに介入、フィードバックにより、耐性菌対策と患者さんの予後改善に努めてまいります。



世界禁煙デー

呼吸器外科
部長 寺崎 泰宏



5月31日は「世界禁煙デー」で、国はこの日に始まる一週間を「禁煙週間」として定めています。また国は2020年東京オリンピックに向けて、受動喫煙防止対策を徹底する方針です。この度、好生館では5月29日から6月2日の午後1階受付の玄関前にて禁煙サポート窓口を開設致しました。20名を超える方々が窓口を訪られました。訪れた方の意見として、「周りに迷惑をかけたくない」、「たばこを吸うのが恥ずかしくなった」等の意見が聞かれました。喫煙は喫煙者自身の健康を奪うだけでなく、周囲の人の健康をも奪います。好生館では患者さんや職員の禁煙への取り組みをサポートしています。



抗菌薬適正使用 支援チーム発足

感染制御部
部長 福岡 麻美



抗菌薬の乱用による薬剤耐性菌の蔓延は、近年国際的な課題となっています。一方新規抗菌薬の開発は減少しており、このままでは近い将来「抗菌薬が効かない時代」の到来が強く危惧されます。この状況を回避するためには、限りある資源である抗菌薬を適正に使用し「薬剤耐性菌を生まださない」取り組みが必要です。

今年度当館では、病院全体における組織的な抗菌薬適正使用を推進するために、感染症医、病棟薬剤師の計16名よりなる「抗菌薬適正使用支援チーム」を新設しました。抗菌薬使用を最適化し、不要な抗菌薬使用を削除することにより、耐性菌抑制と患者予後の向上の両立を目指し活動を行っています。



「好生館医学会 ～チームで取り組む医療安全～」

医療安全管理部
部長 内藤 光三

医療事故の原因として最も多いのは「コミュニケーション不足」です。病院という組織は、医療の提供を多職種の専門家の協同作業で行っているという特色があります。職種が違くと、それぞれの立場で認識や常識が驚くほど違う反面、多角的に問題解決の糸口を見つけやすくなります。今年度の好生館医学会のテーマは「チームで取り組む医療安全」としました。各部署あるいは部署横断的なチームで、問題となった事例の原因や背景要因を分析し、再発防止策などを発表予定です。第3木曜日17時30分から開催しており、院外からの聴講も歓迎いたしますので、ご参加をお待ちしております。



「きらら」七夕訪問

総務課 庶務係
係長 延岡 史朗



好生館の敷地内にある「日新こども園」分園『きらら』から好生館の玄関口に飾る七夕飾りの贈呈式が7月7日(金)にありました。

式には『きらら』の年少3歳児から年長5歳児の14名及び本園(佐賀市長瀬町)の年長「ひばり組」から19名の計33名の園児が参加しました。

この行事は、好生館が水ヶ江から移転してきた平成25年から行われており、今年で5回目となりました。

最初に園児が「たなばたさま」を歌ってから七夕飾りが贈呈されました。館内には園児達の歌声が響き、短冊にはかわいらしいお願い事等がたくさん書いてあり、すばらしい七夕飾りとなっていました。

また、緩和ケア病棟及び小児病棟にも七夕飾りを頂きました。



腫瘍内科

腫瘍内科の取り組み

腫瘍内科
部長

嬉野 紀夫



好生館は、がん拠点病院の一翼をにない、がんの患者さんに対して、抗がん剤を中心とした治療を専門的に行っております。平成20年7月よりがんの化学療法を専門とする腫瘍内科を設置し、抗がん剤によるがんの治療に力を入れています。

平成29年度は、嬉野、大塚の2名体制で診療を行っています。悪性腫瘍に対する高度で専門的な医療を提供するためには、適正な抗悪性腫瘍薬の使用は重要な条件です。安全で効果的な抗悪性腫瘍薬療法を実践するために、『チーム医療としての抗悪性腫瘍薬療法』を基盤とし、抗悪性腫瘍薬療法に対して医師、看護師、薬剤師による専門性の高いチーム医療の実践を目指しています。腫瘍内科医は抗がん剤治療の専門家として、効果を最大限に引き出しつつ、副作用を最小限に抑える努力をしています。

呼吸器外科

体にやさしい手術で肺がんの完治を目指します

呼吸器外科
部長

寺崎 泰宏



呼吸器外科の主な対象疾患は原発性肺癌、転移性肺腫瘍、気胸、膿胸、縦隔腫瘍、胸部外傷、中枢気道狭窄などです。当科の手術症例の半数以上が原発性肺癌をはじめとした悪性腫瘍です。原発性肺癌は予後不良の癌とされていますが、早期の段階で発見し手術で摘出することで多くの方が完治します。一方、少し進行した段階の肺癌(局所進行肺癌)に対しては、他科(呼吸器内科、放射線科)と連携して、手術に薬物療法や放射線療法を併用する、いわゆる集学的治療で完治を目指します。また当科では体にやさしい手術である内視鏡手術(完全鏡視下手術)にも積極的に取り組んでおります。

救急科

地域医療の下支えと災害に備えて

救急科
部長

平原 健司



救急科は、文字通り急性疾患や外傷など急を要する患者さんに即座に対応する科です。頭から足の先まで、急を要する病態がないかの判断、多発外傷など多岐にわたる問題がある場合の治療の優先順位の決定が求められます。そのような医師を十分に確保するのは困難ですが、老兵も含めて何とか踏ん張っている状態です。昨年の熊本地震の際には、ドクターヘリを用いた広域搬送による7名の重症患者さんを受け入れ、DMAT2隊の派遣において当館ドクターカーも活躍しました。日常の救急から災害医療まで、守備範囲は広大ですが、「佐賀県救急医療の砦」として、頑張っております。

集中治療部
(ICU)

佐賀県医療の最後の砦

集中治療部 (ICU)
部長

三溝 慎次



好生館ICUは小児から成人まで幅広い領域で「佐賀県医療の最後の砦」として診療にあたり、特に敗血症では全国トップクラスの成績を誇っています。

他の病院とは異なり、集中治療医が専従で治療に専念でき、高度医療を早急に提供できます。他にも感染制御部医師、専任の薬剤師、臨床工学技士や栄養管理部、リハビリ部門などと連携し、充実したチーム医療を行っています。看護体制は患者対看護職員比で、1~2対1と手厚い体制をとっています。昨年度は650人を超える重症症例を治療し、今後も24時間体制で受け入れられるようにして参ります。



看護の日

今年度は『みんなへとどけ、看護の力』をテーマに、看護の日を開催しました

好生館では新病院となり5回目の看護の日を5月12日に開催いたしました。

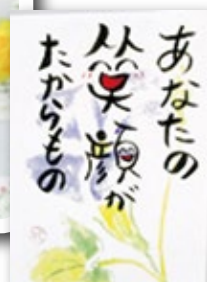
ボランティアの泊ヨシ子さんが書いてくださった絵手紙350枚に、好生館の看護師全員が一人ひとりメッセージを書きました。入院患者さん全員にお渡しし、1階エントランスホールにも展示しました。

患者さんから「大変、心温まるメッセージで毎日手にとっています。」「気持ちは伝わりましたよ。」とのお言葉をいただいております。

また、佐賀県立佐賀北高等学校書道部の下村果凛さんのご協力により、見事な垂れ幕が来場者の方々を出迎えました。看護師による健康相談、体脂肪・ニコチン量測定や手洗いチェックの他、理学療法士・管理栄養士・薬剤師・ソーシャルワーカー等が連携し、約120件の相談を受けました。子どもたちにはバルーンアートのプレゼントやナースキャップ・白衣を着用した記念撮影を行い、大変好評でした。

短い時間でしたが好生館のスタッフみんなで患者さんと接し、身近に看護を感じていただけた一日でした。

患者さんへのメッセージ



キッズコーナー



健康相談





栄養の豆知識

「さがランチ」 新夏メニューを提供中です!

栄養管理部
栄養管理長

小根森 智子



地元レストランのシェフからのメニュー提案、JAから購入する生産者の顔が見える食材、好生館の新調理システムとサテライトキッチンを利用した調理・配膳。「さがランチ」はこの3者の共同で始まった地産地消メニューです。日ごろの病院食は和食中心のおうちごはんなので、レストランテイストの「さがランチ」は入院患者さんに月1回ですが楽しみを提供しています。嚥下食など一部の特殊な食事を除いて多くの患者さんに同じように食べていただけるように工夫しています。

6～8月に提供する夏メニューは、「特製ソース・ドレッシングで骨太有明鶏と旬野菜をさわやかにいただく」をコンセプトに、新調理システムの一つ、真空低温調理を使った鶏肉料理をメインとし、県産野菜をふんだんに使った料理を、サテライトキッチンだからできる凝った盛りつけで提供します。

なお、当館ホームページ内に開設している「佐賀県の食と健康」のサイトに、これまでのメニューや食事に気をつけたい方へのアドバイスも掲載していますので一度ご覧ください。



知っていますか?

検査の話

病理検査室で行われている検査は①病理組織検査と②細胞診検査の大きく2つに分けられます。

①病理組織検査

手術や内視鏡の際に採取された組織を顕微鏡で観察し、疾患や癌の進行度などを診断します。顕微鏡で観察するためにはガラス標本の作製が必要となります。通常の H.E 染色に加え、特殊染色、免疫染色など様々な染色方法があり、それらの染色を総合して診断します。それぞれの作業工程も多いため、診断に至るまでには数日かかります(2日以上)。診断は医師(病理医)が行います。

病理検査について

検査部 病理・遺伝子検査部門
臨床検査技師
安岡 知美



②細胞診検査

尿や胸水、腹水、喀痰、婦人科系疾患などが対象となります。病理組織検査に比べて患者さんの負担が少ない検査です。診断は専門的な資格を持った検査技師(細胞検査士)と医師が行います。

その他にも病理検査室では癌の遺伝子検査を行っており、肺癌や乳癌などの癌治療には欠かせない検査となっています。

患者さんに最適な診断・治療を受けていただけるよう、迅速で正確な対応を心がけています。今後も最良の医療を提供できるように努力していきます。



感染制御部だより

食中毒予防

検査部/ICT
細菌検査技師 田口 舜



夏場は高温多湿で細菌が繁殖しやすく食中毒が起こりやすい季節です。食中毒を予防するためにも、以下の注意が必要です。

○食材の冷蔵保存

細菌をできるだけ増やさないよう、調理する直前まで低い温度で保存しましょう。

○食材の加熱処理

ほとんどの細菌やウイルスは加熱によって死滅しますので、肉や魚、野菜なども加熱して食べれば安全です。

○手洗い

手にはさまざまな雑菌が付着しています。食中毒の原因菌やウイルスを食べ物に付けないようにこまめに手洗いをしましょう。

食中毒の原因となる細菌と潜伏場所

原因菌	潜伏場所
カンピロバクター	主に鶏肉
腸管出血性大腸菌	牛肉の様々な部位
サルモネラ菌	鶏、豚、牛の腸管内、卵
腸炎ピブリオ	魚介類
黄色ブドウ球菌	おにぎりやサンドイッチ

+ 医療安全管理部だより

医療事故防止には コミュニケーションが重要

医療安全管理部
医療安全管理者(GRM) 川内 ひとみ



コミュニケーションエラーは、医療事故の主な原因の一つと言われています。コミュニケーションには情報の発信者と受信者があり、エラーが発生する時はどちらかに問題があるか、もしくは両方にあります。医師から看護師、医療従事者間、

指導者から新人、医療従事者から患者・家族と様々な場面があります。コミュニケーションエラーをヒューマンエラーと考えると、個人の注意力や確認行動だけでは医療事故を防げなくなっています。

『Team STEPPS』は、米国で開発された医療の質と患者安全向上のためのトレーニングプログラムです。今年度、医療安全管理部は『Team STEPPS』の考え方を導入し、ヒューマンエラーの減少と医療事故防止に取り組んでいきたいと考えています。

医療支援部だより

CT検査体制の 変更について

放射線部
技師長 濱田 洋



CT検査では、検査待ち時間の短縮および検査予約待ち期間の短縮を目指して検査体制の見直しを行ないました。まず、CT検査室前に更衣室を設置し、造影検査を行なう患者さんには検査室入室前に血管(注射ルート)確保をするようにしました。また、午前に行っていた心臓冠動脈CT検査を午後を実施することで、午前の検査件数を増やし、予約検査の枠も増加しました。

これにより、検査予約が以前より取りやすくなり、検査前に更衣や血管確保を行なうことで、患者さんへ早く対応することができるようになりました。

また、CT検査室前にはデジタルサイネージを設置しました。検査情報や院内外の情報、赤ちゃんや風景の写真、ニュースなどを見て頂き待ち時間を少しでも短く感じて頂けたら幸いです。

これからも、患者さんが快適に検査を受けられるよう努力いたしますので、ご意見等ございましたらお知らせください。

新たに3名の 認定薬剤師が誕生!

薬剤部
部長 松永 尚



高度化する医療の中で良質かつ安全な薬物療法を提供する目的として、認定薬剤師制度が制定されています。

当館においても認定薬剤師の人数も徐々に増えてきており、昨年度は新たに3名が誕生しました。現在延べ13名の薬剤師が認定薬剤師として活躍しています。

下記に現在取得している認定薬剤師と人数を紹介します。これからも薬剤部一同、質の高い医療を提供するため自己研鑽に努めてまいります。

今後も当館薬剤部は認定薬剤師の取得を目指す薬剤師を応援していきます。ご支援の程よろしくお願いたします。

認定薬剤師	人数
がん指導薬剤師	1名
がん薬物療法認定薬剤師	2名
緩和薬物療法認定薬剤師	1名
感染制御認定薬剤師	1名
妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師	1名
栄養サポートチーム専門療法士	5名
日本糖尿病療養指導士	2名

開放型病床登録医のご紹介

神埼クリニック

〒842-0002
神埼市神埼町田道ヶ里2396
TEL 0952-53-1818

院長
中山 信一



日頃より、好生館の先生方・スタッフの皆さま方には大変お世話になり心より感謝しております。クリニック開業後35年になりました。

年間1500～1800人程度の胃X線検査をしていましたが、内視鏡検査への移行に伴い昨年胃X線検査は11人となり残念ですが、今年3月にて胃X線検査、注腸透視を廃止としました。幸い今年4月より消化器内科の息子が仕事を手伝ってくれることになり助かっています。現在は息子と消化器内科、一般内科の診療にあたっています。

患者さんの希望をより大切にして日々の診療、地域医療に貢献できるように頑張っています。今後も好生館はじめ地域医療機関との病診連携をどうぞ宜しくお願い致します。



この医院

〒849-0918
佐賀市兵庫南1丁目12-7
TEL 0952-23-7276

院長
河野 哲也



当院は、平成10年11月に開業しました。当時はのどかだった兵庫地区も現在では随分と賑やかになってまいりました。当院では、経鼻胃内視鏡をはじめ消化器疾患や生活習慣病、外科処置を必要とする患者さんを対象に診察させて頂いていますが、開業も長くなり私の不勉強のせいもあり、最近の医療の進歩に戸惑いを感じることもしばしばです。

好生館の先生方にはいろいろ教えて頂くことと存じますが今後とも宜しくお願い申し上げます。



野口クリニック

〒840-0801
佐賀市駅前中央2丁目1-1 北口ビル2F
TEL 0952-31-5548

理事長・院長
野口 清



当院は開業以来38年、地域の精神科医療に携わってまいりました。現代はストレス社会と言われ、私たちの心の空洞化は深刻なものとなっています。「心の病」は、今や他人事ではなく、私たち一人ひとりの切実な問題になりかねません。

当院では、「心とからだ」の相関に留意し、各世代・各年代に起こりうる様々な心身の問題に対し、予防から治療・カウンセリングを行い、「心の病」を解決するお手伝いをさせていただきます。



医療法人
中西内科

〒840-0201
佐賀市大和町尼寺2257-8
TEL 0952-62-0029

理事長・院長
中西 弘



昭和21年亡き父が当地に開業、昭和58年より継承し35年内科一般の診療をしております。

職員不足で有床診療所継続困難となり無床で外来患者に対応しておりますが、以前より増して好生館の先生方にお世話になる事が多くなりました。病診連携で貴院の希望に沿うか判りませんが、努力して参ります。今後とも宜しくお願い申し上げます。



佐賀県医療生協
多久生協クリニック

〒846-0012
多久市東多久町大字別府3245-5
TEL 0952-76-3177

所長
愛野 浩生



多久生協クリニックは、医療生協の診療所です。入院施設のある佐賀市の神野診療所と連携し医療活動を行っています。

旧産炭地である多久市で、炭鉱労働に従事された方々の労災職業病である塵肺の診断や、労災補償の申請を援助するために開設されました。掘り起こし検診など今まで数百人の患者様の治療を行っています。

今後は、小児から高齢者までの総合医療や、地域包括ケアの構築に尽力し、住み慣れた多久の地で人生を全うするお手伝いをさせていただきます。



しげた総合診療クリニック

〒840-0214
佐賀市大和町大字川上 323-1
TEL 0952-64-9800

院長
重田 研一郎



2011年に開業し、6年目を迎えたクリニックです。佐賀医科大学総合診療部にて西洋医学一般を学び、好生館東洋医学診療部にて東洋医学一般を学び、現在はこれに代替療法を加え、WHOが提唱した「心と身体と魂の健康」をテーマに、「癒し・学び(気づき)・自立の医療」をモットーに、総合的で全人的な診療を日々行っております。一般内科、漢方内科、心療内科、アレルギー科、小児科など、内科領域すべてのプライマリー・ケアに対応。地域の皆さま方の心体魂の健康をお守りするセンターとして尽力させていただきます。





地域医療連携センター
副センター長 園田 美佐枝

地域医療連携センターだより

医療機関との連携を深めるために

地域医療連携センターでは、患者さんが良質で安全な医療を安心して受けられるよう地域の医療機関との連携をはかっています。研修会や地域連携パスカンファレンスに参加し、情報収集や意見交換など行っています。顔と顔をあわせて、顔の見える連携を深めていくことで、何でも言い合える関係性を築いていきたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。

また今年度も地域医療連携懇談会を企画しておりますので、是非ともご参加ください。

連絡先 地域医療連携センター (TEL:0952-28-1495)

地域医療連携懇談会

テーマ 『好生館の地域連携ホットラインの活用について』

日 時 9月22日(金) 18:30~

場 所 ホテルニューオータニ佐賀



「さがmirai」をご存じですか？

一般相談支援センター
副センター長 河内 志津子



女性に対する性暴力被害は、被害者が相談することをためらい独りで抱え込んでしまうため、被害の実態が潜在化してしまう傾向にあります。このような被害者に対する支援として、心理的負担をかけずに相談できる窓口を構築し、被害状況を踏まえた上で、迅速かつきめ細やかに対応することが求められています。佐賀県は公費を投入し、平成24年に「性暴力被害者支援事

業」を開始しました。「性暴力救援センター・さが(さがmirai)」と「アバンセ女性総合相談」を相談窓口としています。

当館では24時間体制(性暴力救援センター全国連絡会登録団体の中で24時間対応しているのは8ヵ所のみ)で女性のMSWが適切に対応しています。「性暴力被害者支援事業」は、被害者の不安、葛藤、傷つき、恐怖などを適切に受け止め、必要な支援に繋げ、一人でも多くの被害者の生活再建と心身の回復に資するものとなることを目指しています。

連絡先 さがmirai (TEL:0952-26-1750)
一般相談支援センター (TEL:0952-28-1158)

『がん相談支援センターよりお知らせ』

がん相談支援センター
副センター長 日浦 あつ子



「がんに向き合う読本 SAGA」をご利用ください
佐賀県内のがん情報をまとめた読本です。
2017年度改訂版ができました。

がんの予防、検診、治療、緩和ケアなどの情報から相談窓口の紹介、県内の患者会情報を一冊にまとめています。無料にて配布していますので、どうぞご利用ください。



連絡先 がん相談支援センター
(TEL:0952-28-1210 FAX:0952-28-1250)

好生館ホットラインについて

地域の医療機関の先生方から「ホットラインのことがわからない、どう使えばいいのか」とご意見を頂きました。改めて脳卒中センター、ハートセンター、外傷センターからホットラインについてのご案内をさせていただきます。

脳卒中ホットライン

脳卒中センター長 杉森 宏



脳卒中とは脳の血管が詰まるか破綻するかのいずれかで起こる病気です。一旦壊れた脳の組織はどんなことをし

ても治せないで治療には一分一秒を争います。運よく早めに先生のところに受診されたときにはホットラインにただちにご連絡ください。発症時刻とだいたいの症状(顔、腕、言葉のいずれかの異常の有無)、名前と生年月日をお伝えいただければと思います。処方歴や既往歴もお教えいただくと助かりますが、診療情報提供書の準備に時間をかける必要はありません。後ほどFAXで結構です。

循環器ホットラインは 24時間365日、 繋がっています

ハートセンター長 内藤 光三



緊急対応が必要な循環器患者の治療依頼は、ホットラインを利用していただければ、病院内にいる循環器医師

に直接電話が繋がります。通常の方法で電話連絡される場合、救急医が複数の急患に対応している時など、患者受け入れ困難と返答したりあるいは受け入れが遅れることがあります。基本的には循環器救急患者の受け入れは断らず、可能なかぎり当館で治療する方針ですので、循環器ホットラインのご利用をお願いいたします。

整形外科外傷ホットライン のお知らせ

受付時間8:30~17:15(土曜・日曜・祝日は除く)

外傷センター長 前 隆男



好生館整形外科では、頻度の多い四肢や脊椎の骨折など整形外科外傷に対して迅速な治療に結びつけるためにホットラインを運用しています。

このホットラインは、連携医療機関や佐賀市広域消防局の救急隊より直接ホットライン担当医師につながり、地域の医療機関や外傷現場からも直接連絡が取れるようにしています。

運用時間では皆様にご迷惑をおかけしておりますが、開放骨折や多発骨折などは迅速な対応がより良い治療経過につながりますので、積極的な整形外科外傷ホットラインのご活用をお願いいたします。

佐賀県医療センター好生館 ホットライン

各診療センタースタッフが直接電話をお受けします。

脳卒中センター

TEL 0952-29-9982

(24時間365日対応)

ハートセンター

TEL 0952-24-2178

(24時間365日対応)

外傷センター

TEL 080-1708-2658

受付時間 8:30~17:15(土曜・日曜・祝日は除く)
*つながらない場合は代表電話
(0952-24-2171)へご連絡下さい。

*救急隊と医療関係者のみで一般の方からの相談には対応していません。



新任医師
の紹介
4~5月

4月17日付

麻酔科
医長
田代 直規

5月1日付

消化器外科
医員
田中 太



好生館での原爆被爆者 治療記録 (原爆カルテ)

副館長
林田 潔



先の太平洋戦争において、1945年8月9日長崎に原爆が投下され、直後より救援列車が走り、被爆者を医療施設のあった大村や、佐賀に運びました。NHK「長崎原爆 救援列車」の番組で放送され、ご覧になった方も多いと思います。佐賀まで移送された方々の治療に当たったのが好生館でした。当時の貴重な被爆者の治療記録が、進駐軍による接収も逃れ、密かに保管されたまま発見され、原

爆被爆診療の大変貴重な資料として、番組でも紹介されました。1945年8月14日から翌1月5日までの75名の記録です。患者氏名、罹災地、初診日、性別、年齢、職種、現住所、来院に至るまでの経緯などの情報が独語と日本語で記載されています。病理解剖の記録なども有り、放射線障害について経験も無く、医療資材も乏しい中、懸命に治療に当たり、原因究明に当たっていた好生館の様子がかがえます。



想いつながる 24 時間 **9/23.24** リレー・フォー・ライフ・ジャパン佐賀 2017 開催♪

がん相談支援センター
認定がん専門相談員・係長MSW
大石 美穂



今年で開催3回目となるリレー・フォー・ライフ・ジャパン2017のキックオフ!! いよいよ準備開始です。

来場者の皆様が想いを語り、「ひとりじゃないよ。社会に出よう、歩みだそう、つながろう」というコンセプトで、実行委員の活動も始まりました。

当館も中川原理事長はじめ、好生館職員も多数参加し皆様とともにどん³の森を歩きます。会場では、がん患者の皆様就労やお金のこと、治療のことをいっしょに考える企画や楽しいイベントもあります。

静かに目を閉じ旅立った仲間を偲び、想いを馳せるルミナリエや、サバイバーとケアギバーが、寄り添い歩いて語り合うなか、あらたな繋がりが生まれます。「ひとりじゃないよ」を合い言葉に、声をかけあいましょう。そして仲間の輪が繋がりが広がっていく…。何と素晴らしいことでしょう。ほんの少しの時間参加してみる、次の日の朝陽をいっしょに浴びる、テントを出していっしょに活動してみる、いろんなかたちで参加できます。皆さん、9月23、24日にどん³の森を歩き、お話しませんか？



外来医師一覽表

(平成29年7月1日現在)

※都合により不在または変更になる場合がありますので、該当科にご確認ください。

電話：0952-24-2171 (おかけ間違いのないようお気をつけ下さい。)

診療時間は原則として、月～金曜日の9時～13時です。(受付時間は8時30分～11時です。)土・日曜、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)は休診です。

区 分		月	火	水	木	金	
内 科	総合内科	新患 再来	池田 園子 松石 英城	松石 英城 池田 園子	池田 園子 松石 英城	松石 英城 —	池田 園子 —
	呼吸器内科	新患	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
		再来	久保田 未央	加藤 剛	岩永 健太郎/小宮 奈津子	加藤 剛	岩永 健太郎
	肝胆膵内科		河口 康典/中下 俊哉	古賀 風太	中下 俊哉/大座 紀子	河口 康典/大座 紀子	河口 康典/古賀 風太
	消化器内科	新患(午前)	岡本 憲洋	富永 直之	川村 紗奈江	川村 紗奈江	松浦 聡子
		新患(午後)	川村 紗奈江	川村 紗奈江	川村 紗奈江	川村 紗奈江	川村 紗奈江
		再来	富永 直之	緒方 伸一	富永 直之	緒方 伸一	岡本 憲洋
		ピロリ外来(完全予約制)	—	—	—	富永 直之(午前)	—
	血液内科	新患	近藤 誠司	権藤 久司	久富 崇	近藤 誠司	*久富 崇(第1-3-5金曜)/ *木塚 通葉(第2-4金曜)
		再来	木塚 通葉	権藤 久司/久富 崇	近藤 誠司	久富 崇/権藤 久司/木塚 通葉(午後)	権藤 久司
	腎臓内科		力武 修一	中村 恵	—	力武 修一	中村 恵
	糖尿病代謝内科		吉村 達	吉村 達	吉村 達	吉村 達	—
	腫瘍内科	新患/コンサルト	大塚 大河	嬉野 紀夫	嬉野 紀夫	嬉野 紀夫	大塚 大河
		再来	嬉野 紀夫/大塚 大河	嬉野 紀夫/大塚 大河	嬉野 紀夫/大塚 大河	嬉野 紀夫/大塚 大河	嬉野 紀夫/大塚 大河
	感染症(予約・紹介)		福岡 麻美	福岡 麻美	福岡 麻美	福岡 麻美	福岡 麻美
膠原病・リウマチ (14:00～16:00)		(第2・第4 金曜日) (毎週 金曜日)				多田 芳史	
消化管内視鏡 (責任者)		緒方 伸一	河口 康典	緒方 伸一	富永 直之	緒方 伸一	
気管支鏡		加藤 剛	—	小宮 奈津子	久保田 未央	—	
腹部エコー		大座 紀子 古賀 風太	*中下 俊哉/ *大座 紀子 (*隔週で交代)	河口 康典 古賀 風太	中下 俊哉	中下 俊哉 大座 紀子	
透 析		中村 恵	力武 修一	中村 恵/力武 修一	中村 恵	力武 修一	
小 児 科	午前 (専門外来については小児科外来にお問い合せください)		担当医	担当医	担当医	担当医	
	午後 (完全予約制)	アレルギー外来(第1・第3) 乳児健診種 予防接種	神経外来(当館医師) 内分泌外来	循環器外来 予防接種	1ヵ月健診	アレルギー外来 心身症外来 血液外来	
循環器内科	午前	江島 健一 中城 総一	吉田 敬規 中村 郁子	吉田 敬規 柿野 貞盛	江島 健一 中城 総一	林田 潔 中村 郁子/三上 剛	
	不整脈外来(午前)	担当医	—	不整脈外来新患	—	担当医	
	ペースメーカー外来(午前・予約制)	—	—	担当医	—	—	
精神科	午前(完全予約制) 再診 初診	福田 貴博 石井 博修	福田 貴博 非常勤医師	福田 貴博 石井 博修	福田 貴博 石井 博修	福田 貴博 石井 博修	
	午後	各病棟(精神科コソサルトーション・リエゾン)					
放射線科	放射線診断 ・I・V	相部 仁 安座間 真也 西原 雄之介 岡本 大佑他	相部 仁 安座間 真也 西原 雄之介 岡本 大佑他	相部 仁 安座間 真也 西原 雄之介 岡本 大佑他	相部 仁 安座間 真也 西原 雄之介 岡本 大佑他	相部 仁 安座間 真也 西原 雄之介 岡本 大佑他	
	放射線治療	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	
脳神経内科	午前	新患/再来	高島 洋	高島 洋	美奈川 弘	美奈川 弘	
	午後	(14:00～16:00) 検査・処置 パーキンソン病外来(予約制)	検査・処置	回 診	予約制 もの忘れ外来 高島 洋	回 診 検査 処置	
脳血管内科	午前	上床 武史	杉 森 宏	鴨川 徳彦	上床 武史/鴨川 徳彦	杉 森 宏	
緩和ケア科	午前(再診) 午後(新患)	完全予約制	—	小杉 寿文/鶴池 直邦 久保 麻悠子	—	小杉 寿文/鶴池 直邦 久保 麻悠子	
禁煙外来	午後	—	岩永 健太郎(14:30～16:30)	林田 潔(13:30～15:30)	寺崎 泰宏(14:30～16:30)	—	
外 科	消化器外科	新患	田中 聡也	平木 将紹	池田 貯	池田 貯	北原 賢二/田中 聡也
		再来	田中 聡也	平木 将紹/山田 浩平	池田 貯/平木 将紹	池田 貯	田中 聡也/佐藤 清治
	肝胆膵外科	新患	三好 篤	北原 賢二	三好 篤	久保 洋	北原 賢二
		再来	—	—	—	—	—
乳腺外科		—	手術	白羽根 健吾/服部 正見	手術	白羽根 健吾/服部 正見	
呼吸器外科	新患	手術	寺崎 泰宏	手術	寺崎 泰宏	手術	
小児外科	新患	村守 克己	寺崎 泰宏/原本 詩子/岡本 祐介	井上 貴之	寺崎 泰宏/岡本 祐介/原本 詩子	村守 克己	
	再来	福田 篤久	手術	—	福田 篤久	手術	
眼 科	午前	手術	大野 新一郎/福永 由起子	手術	大野 新一郎/福永 由起子	大野 新一郎/福永 由起子	
	午後	検査	坂井 摩耶/中野 加央里	検査	坂井 摩耶/中野 加央里	坂井 摩耶/中野 加央里	
産婦人科	午前	婦人科	金井 督之/八並 直子	安永 牧生/川崎 いずみ/大原 良一	安永 牧生/内野 美穂	安永 牧生/内野 美穂	
	午後	産科(紹介・予約) 産科(紹介)	内野 美穂/室 雅巳 安永 牧生 室 雅巳	室 雅巳/内野 美穂 金井 督之 室 雅巳	手術日 (急患のみ担当者)	川崎 いずみ/大原 良一/金井 督之 八並 直子 室 雅巳	
耳 鼻 いんこう科	午前	手術	宮崎 純二/大橋 充 宮崎 俊一/樋口 良太	手術	宮崎 純二/大橋 充 宮崎 俊一/樋口 良太	宮崎 純二/大橋 充 宮崎 俊一/樋口 良太	
	午後	回診・検査	回診・検査	回診・検査	回診・検査	回診・検査	
泌尿器科	午前	徳田 倫章/諸隈 太 内野 洋志/山下 拓也	徳田 倫章/諸隈 太 内野 洋志/高松 大	手術	徳田 倫章/諸隈 太 内野 洋志/山下 拓也	手術	
歯科口腔外科	午前・午後	完全予約制	野口 信宏 佐野 直人	野口 信宏 佐野 直人	野口 信宏 佐野 直人	野口 信宏 佐野 直人	
形成外科	午前	増本 和之	手術	回診	手術	藤井 達哉	
皮膚科	午後	外来手術	—	フットケア外来	—	外来手術	
整形外科	一般整形	前 隆男/塚本 伸章 屋良 卓郎/矢野 良平	手術	前 隆男/小宮 紀宏 矢野 良平/当番 医	当番 医	塚本 伸章/小宮 紀宏 屋良 卓郎	
	脊 椎	加藤 剛	—	加藤 剛	—	加藤 剛	
脳神経外科	午前	松本 健一	坂田 修治	坂田 修治	—	溝上 泰一郎	
	午後 専門外来	予約のみ	(水頭症外来)坂田 修治	—	(脳動脈瘤外来)松本 健一	手術 (脳血管内治療外来)溝上 泰一郎	
心臓血管外科	午前	手術	内藤 光三 里 学	手術	内藤 光三 里 学	手術	
	午後	—	回 診	—	回 診	—	
人 間 ドック	— 般	林田 潔	井之口 香映子	権藤 久司	権藤 久司	井之口 香映子	
	脳ドック	高島 洋	坂田 修治	杉 森 宏	上床 武史	高島 洋	
	心臓ドック	—	—	—	林田 潔	—	
看護専門外来	完全予約制	江口 忍	江口 忍	江口 忍	江口 忍	江口 忍	